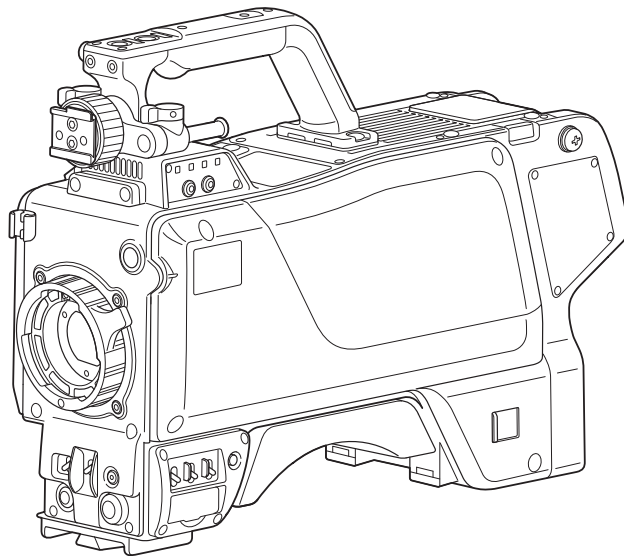


取扱説明書

スタジオハンディカメラ

品番 **AK-HC3800G**
品番 **AK-HC3800GS**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

もくじ

はじめに	2	メニュー構成	22
付属品	2	調整範囲一覧	24
安全上のご注意	3	カメラで扱うデータについて	30
特長	6	本機搭載ファームウェアのアップデートについて	31
フレーム周波数の設定	6	保証とアフターサービス(よくお読みください)	31
使用上のお願い	7	外形寸法図	32
各部の名前とはたらき	8	定格	33
ビューファインダーの取り付け/取り外し	13	さくいん	34
マイクロホンの接続	14		
システム構成	15		
AK-HC3800G/GS コネクターピン	16		
ビューファインダーのスクリーン表示	17		
ご使用時間の確認	19		
ワーニング表示について	19		
メニュー操作	20		

はじめに

お願い

本機は、フレーム周波数の設定が59.94 Hzで出荷されています。ご使用地域に合わせて、6ページに記載の手順でフレーム周波数の変更設定を行ってください。

本機は、1080iフォーマット対応スタジオハンディカメラです。合わせて提供するカメラコントロールユニットAK-HCU200/S、リモートオペレーションパネルAK-HRP200Gと組み合わせて、高画質、非圧縮、長距離伝送が可能な光伝送スタジオカメラシステムをローコストで構築できます。本機は、撮像素子に、2/3型220万画素IT-CCDを採用し、独自の新開発16ビットA/D対応デジタル信号処理回路と合わせ、従来カメラより高感度を実現しています。また、デジタル処理ならではの多機能、高品質、高安定での操作性の向上に加えて、CAC(レンズの倍率色収差を補正する色収差補正機能)、スキャンリバーサ(アナモレンズやフィルム用レンズ使用時に画像反転を補正する機能)などの機能を新しく搭載しています。

■ 商標および登録商標について

- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

■ 本書内のイラストや画面表示について

カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 参照ページについて

本書では、参照ページを(→00 ページ)のように示しています。

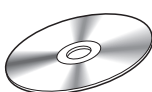
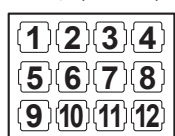

■ 用語について

- SDメモリーカードとSDHCメモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。
- 本書では、カメラコントロールユニットを「CCU」と記載しています。
- 本書では、リモートオペレーションパネルを「ROP」と記載しています。

付属品

付属品をご確認ください。



- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

CD-ROM..... 1  ・取扱説明書	カメラナンバーシート(1~12) 1セット 	レンズマウントキャップ 1 (本体に取り付け済み) 
--	--	---








安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    	してはいけない内容です。
 	実行しなければならない内容です。



警告

	■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する (設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒ 必ず販売店に依頼してください。
	■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)
異常、故障時には直ちに使用を中止する	
	■ 異常があったときは、光ファイバermalチケーブルを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、光ファイバermalチケーブルを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
異常、故障時には直ちに使用を中止する	
	■ 外部DC電源を使用時、異常があったときは、電源プラグを抜く 〔内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき〕 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ 光ファイバermalチケーブルは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだケーブルやゆるんだケーブルのまま使用しないでください。 (光ファイバermalチケーブルは本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)
	■ 外部DC電源を使用するときは、電源電圧、および外部電源入力コネクタのピン配列を確認し、極性を正しく接続する (誤って接続すると火災や故障の原因になります。) ⇒ 詳しくは10、16ページを参照してください。 (DC電源は本機に付属していませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)
	■ 外部DC電源は、定格電圧、電流を確認し、適切なものを使用する (不適切な外部DC電源を使用すると火災の原因になります。) ⇒ 詳しくは10ページをご覧ください。 ⇒ 外部DC電源に付属の説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。 ⇒ 外部DC電源は、電気用品安全法の  マークの付いたものをご使用ください。

 **警告 (つづき)**

	<p>■ 光ファイバーマルチケーブルのほこりなどは、定期的にとる (ケーブルにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) 半年に一度はケーブルを抜いて、乾いた布で拭いてください。</p> <p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p> <p>■ レンズの取り付け・締め付けは確実に (落下すると事故の原因になります。)</p> <p>■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。) ⇒ 必ず販売店に依頼してください。</p>
	<p>■ 光ファイバーマルチケーブルが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ 光ファイバーマルチケーブルの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。 (光ファイバーマルチケーブルは本機に付属しておりませんが、安全にご使用いただくために、お守りください。)</p> <p>■ 電源を入れたまま長時間直接触れて使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接触れていると低温やけど*の原因になります。) ⇒ 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります</p> <p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花びんなどの容器や金属物を置かないでください。</p> <p>■ カメラナンバーシート、メモリーカード(別売品)は乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p> <p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります)</p> <p>■ 光ファイバークネクターや光ファイバーマルチケーブルの先端を直視しない (内部のレーザー光源を直視すると、視力障害の原因になることがあります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や光ファイバーマルチケーブルには触れない (感電の原因になります。)</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります)</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で光ファイバーマルチケーブルやコネクターに触れない (感電の原因になります)</p>

 **注意**

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ 光ファイバーマルチケーブルやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重さも本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。</p>
	<p>■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が加熱・損傷し、火災、故障の原因となります。)</p>
	<p>■ インターカム使用時は音量を上げすぎない (インターカムから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒ 直ちに光ファイバーマルチケーブルを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
	<p>■ レーザー光を直接見ないでください</p>
	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、光ファイバーマルチケーブルや外部DC電源のコードを本機から抜く (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 移動するとき、接続したコードに力が加わらないよう注意する (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
	<p>■ コードを引き回す場合、足など引っ掛けないよう固定したりカバーなどを (足などを引っ掛けると、けがの原因になります。また、コードが傷つき、火災の原因にもなります。)</p>

特長

1080i、220万画素CCDを採用

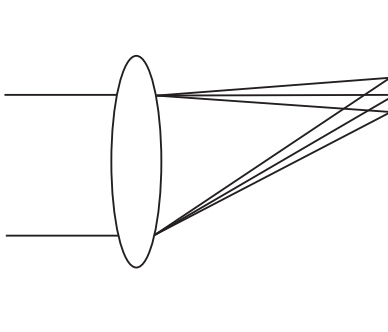
- F11 (50 HzではF12)の標準感度。高感度を実現。
また、1080i、50 Hz/59.94 Hzのスイッチャブル運用にも対応。

16ビットA/D変換デジタル信号処理

- 標準化周波数74 MHz、16ビットA/D変換器により映像信号をデジタル化しており、より繊細で高画質な映像再現を可能にしています。

色収差補正機能

- 光の波長によりレンズでの屈折率が異なることに起因する、レンズの倍率色収差 (以降、色収差と記載します) を補正する機能を搭載しています。
倍率色収差は、レンズの屈折率が赤 (R)・緑 (G)・青 (B) によって異なるために発生します。レンズ自体で色収差の補正を行っていますが、特に周辺では色収差が残留します。また、この色収差はズームレンズであればズーム倍率・絞り・焦点距離が複雑に関係して発生します。画像としてはレジストレーションエラーとなります。



この機能を使用すれば、レンズの周辺で発生する色収差を補正することができるため、高品位な映像信号を得ることができます。ただし、色収差補正に対応したレンズを使用する必要があります。

デジタルエクステンダー機能

- デジタル信号処理回路で映像を2倍に拡大します。より、高倍率での撮影が可能となります。この機能は、割り当てスイッチ<USER1、2、3>、および外部リターンコントロールスイッチ1、2、3、LENS VTRスイッチに割り当て可能です。

フィルムライクガンマ機能搭載

- Varicam (AJ-HDC27シリーズ) で培ったフィルムトーンを容易に得られるよう、Varicamと同様のFILMRECガンマを搭載しました。

DRS (ダイナミックレンジストレッチャー) 機能

- 通常の撮影では白トビする、高輝度な部分の映像信号レベルをコントロールを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大することができます。

光デジタル伝送

- 光ファイバマルチケーブルを使用して、カメラコントロールユニット (CCU) と接続し、高品位に非圧縮のデジタル伝送ができます。また、カメラコントロールユニット (CCU) に入力されたプロンプターやリターン信号をカメラから出力可能です。

フレーム周波数の設定

本機は、フレーム周波数の設定が59.94 Hzで出荷されています。
本機をご使用になる際には、以下の手順で、ご使用になるフレーム周波数の変更設定を行ってください。

1. 本機にビューファインダーを接続する (→ 13 ページ)

または、カメラHD-SDI出力2コネクター<HD SDI2>をモニターに接続する (→ 10 ページ)

<NOTE>

CCUの設定については、CCUの取扱説明書をご覧ください。
また、CCUのSETTING1メニューの[CCU MODE]の設定に応じて、本機の[CAMERA MODE]を設定してください。[CCU MODE]を[1080/23.98PsF]に設定した場合は、本機の[CAMERA MODE]の設定を[23.98P]にする必要があります。

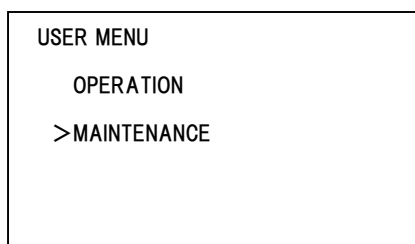
2. 本機に光ファイバマルチケーブルまたは、DC電源を接続する

3. 電源をONにした後、メニュースイッチ<MENU>を押す

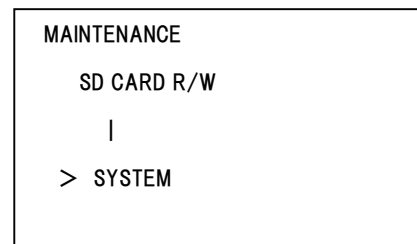
[USER MENU] 画面が表示されます。
メニュー操作についての詳細は、20ページを参照してください。

4. ジョグダイヤルボタン<SELECT>を回して

[MAINTENANCE] 項目にカーソル (矢印) を移動させ、ジョグダイヤルボタン<SELECT>を押す



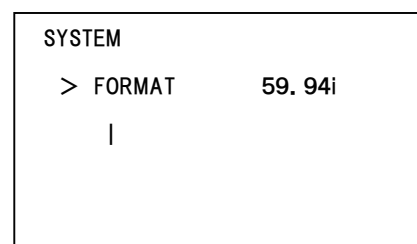
5. ジョグダイヤルボタン<SELECT>を回して [SYSTEM] 項目にカーソル (矢印) を移動させ、ジョグダイヤルボタン<SELECT>を押す



6. ジョグダイヤルボタン<SELECT>を回して [FORMAT] 項目にカーソル (矢印) を移動させ、ジョグダイヤルボタン<SELECT>を押す

7. カーソル (矢印) で [59.94i] または [50i] を選択し、ジョグダイヤルボタン<SELECT>を押す

フレーム周波数の設定が確定します。



8. 本機の電源をいったんOFFにして、再度、電源を投入する

使用上のお願い

●CCUとの接続について

本機は確実に接地された指定のCCUに接続してください。

●撮影は適正な照明で

- ・美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- ・蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- ・明るすぎるところではNDフィルターをお使いください。

●高輝度の被写体では

光った被写体などを撮影するとCCDカメラ特有のスミア現象が発生します。

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。

●取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

●光学系部には触れないで

光学系部はカメラの「生命」です。レンズを外したりして光学系には絶対に触れないでください。万一、ホコリが付いた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

●太陽光に向けない、レーザー光に向けない

太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、CCDを傷める原因となります。

●雨天・降雪・海岸・水辺での使用時は、レインカバー（別売品）をかぶせるなどして、機器が濡れたり水が入らないようにしてください

●湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは内部の部品が傷みやすくなりますので避けてください。
また、使用していない端子類には保護キャップをかぶせておいてください。

●使用温度範囲は

-10℃以下の寒いところや、45℃以上の暑いところでは画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。
なお、低温環境下では予熱が必要になります。WARM UPワーニング表示(→19ページ)が出ていないことをお確かめの上、ご使用ください。

●お手入れは

電源を切って乾いた布でふいてください。ホコリがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使うもの)で行ってください。

●光ファイバーコネクタについて

光ファイバーコネクタが汚れている場合は、光信号の送受信状態が低下しますので、清掃を行ってください。(→9ページ)

●冷却ファンについて

内部には冷却ファンがついています。
冷却ファンは消耗品ですので、約50,000時間を目安に交換してください。(交換は必ず販売店へ依頼してください。)

●周辺機器ソフトウェア

AK-HC3800G/GSに接続する周辺機器(CCU、ROP)は、ソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除についてご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

個人情報の保護について

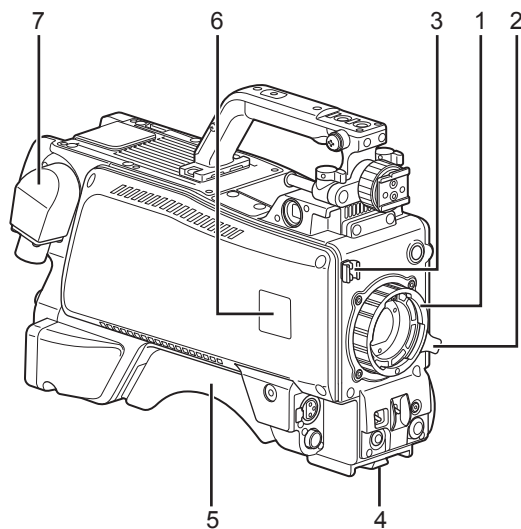
本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します*

法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

- ・本商品とともに使用するメモリーカードに記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本商品が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分に注意してください。メモリーカードは取り外し、保管管理してください。

各部の名前とはたらき



1. レンズマウント (バヨネット式)

レンズを取り付けます。

2. レンズ固定レバー

レンズマウント(1)にレンズを装着し、このレバーでレンズを固定します。

3. レンズケーブル/マイクケーブルクランプ

レンズケーブルとマイクケーブルを固定します。

4. 三脚取り付け部

スタジオハンディカメラを三脚に固定する前に、三脚取り付け金具 (SHAN-TM700) (別売品)を取り付けます。

5. ショルダーパッド

スタジオハンディカメラを肩に担ぐときに使用します。本機を肩に担ぐときに肩への負担を減らします。

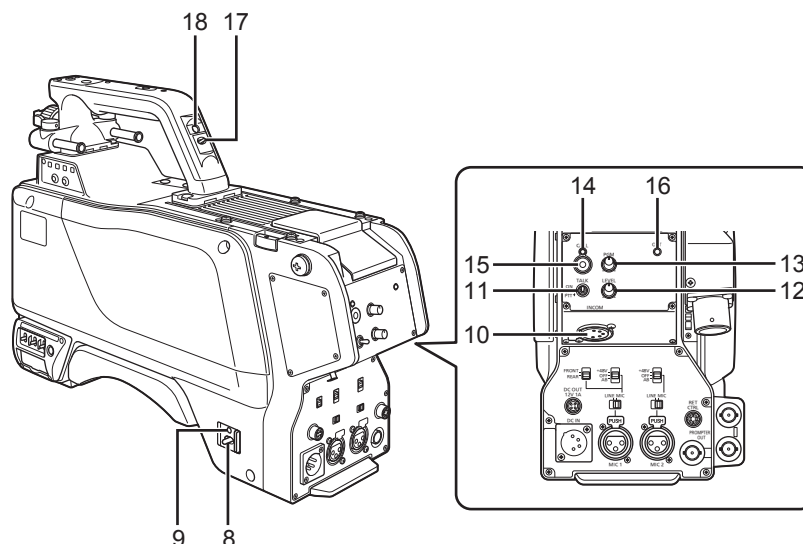
6. カメラナンバーシートホルダー

付属のカメラナンバーシートを取り付けることができます。

7. 光ファイバーコネクタ<OPT FIBER>*1

CCU(カメラコントロールユニット)と光ファイバーマルチケーブルで接続します。使用しない場合はダストキャップをかぶせておいてください。

*1 AK-HC3800G: OPS2402-R (多治見無線電機製)
AK-HC3800GS: EDW.3K.93C.TLC (LEMO製)



8. カメラ電源スイッチ <POWER>

カメラの電源入力 (CCUまたは外部電源入力コネクタ<DC IN>から電源を供給) の選択と、電源OFFを行います。

CCU : 本機をCCUに接続時、CCUから電源を供給して電源をONにします。

EXT : 本機に外部DC電源を接続時、外部DC電源から電源を供給して電源をONにします。

中央位置 : 電源をOFFにします。

9. 電源表示LED

カメラに電源が供給されると緑色に点灯します。

点灯 (緑) : カメラ電源がONの状態

点灯 (赤) : 電源がON状態のCCUに接続されている状態でカメラ電源OFFの場合

消灯 : CCU未接続状態でカメラ電源がOFFの場合、または電源がOFF状態でCCUに接続されている場合

10. INCOMコネクタ <INCOM>

インターカムまたはヘッドセットのプラグを接続します。

11. INCOMマイクON/OFFスイッチ <TALK>

インターカムマイクのON/OFF/PTT選択スイッチです。

PTT (Push to talk) タイプのインターカムまたはヘッドセットを使用する場合は、PTT側に倒すとマイクがONになります。

12. INCOMレベルつまみ <LEVEL>

インターカムとPGMのミックス機能がONに設定されているとき、インターカムの受話音量を調節します。

インターカムとPGMのミックス機能のON/OFFは、カメラメニューにて設定します。

[USER MENU]>[OPERATION]>

[MIC/INCOM SETTING]>[PGM MIX]

13. INCOM/PGMレベルつまみ <PGM>

インターカムとPGMのミックスレベルを調整します。

14. コールLED

ROP、CCUからコールスイッチが押されると、緑色に点灯します。

15. コールスイッチ <CALL>

スイッチが押されている間、ROPおよびCCUのコールLEDが点灯しROPのブザーが鳴ります。(ROPのブザー設定がONの場合)

<NOTE>

カメラが外部DC電源で動作しているときにコールスイッチ<CALL>を押した場合は、ROPのコールLEDは点灯しません。

16. OPT LED

カメラの光信号受信状態を示します。

正常時 : 緑色に点灯

異常時 : 赤色に点灯

<NOTE>

異常が発生した場合は、本機ならびにCCUの電源を切り、光ファイバーコネクタの清掃をしてください。改善されない場合は、ただちに電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡ください。

17. バックタリーLED選択スイッチ

バックタリーLEDのON/OFFを設定します。

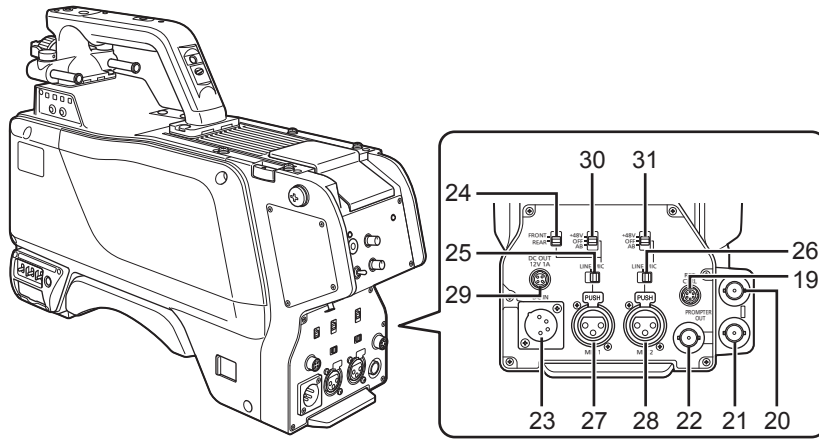
18. バックタリーLED

タリー信号が送られると点灯します。

Rタリー時 : 赤色点灯

Gタリー時 : 緑色点灯

R/Gタリー同時 : 赤色点灯



19. RET切り替えコントロールコネクタ <RET CTRL>

RET切り替えボックスのケーブルを接続して、RET1/2/3とインターカムマイクのON/OFFをコントロールします。
RET1/2/3はカメラメニューにて、リターンA、リターンBまたはデジタルエクステンダーのいずれかを選択して割り付けることができます。
[USER MENU]>[OPERATION]>[SWITCH MODE]>[EXTERNAL RETURN1]([EXTERNAL RETURN2],[EXTERNAL RETURN3])
RET A : RET A映像切り替え機能を割り当てます
RET B : RET B映像切り替え機能を割り当てます
D.EXT : デジタルエクステンダー切替機能を割り当てます

20. カメラHD-SDI出力1コネクタ (BNC) <HD SDI1>

カメラのHD-SDI映像を出力します。
<NOTE>
5C-FB以上のケーブルをご使用ください。

21. カメラHD-SDI出力2コネクタ (BNC) <HD SDI2>

カメラメニューにて、カメラ映像、VF映像またはRET映像のいずれかを選択してHD-SDI出力することができます。
[USER MENU] > [OPERATION] > [SETTING] > [HD-SDI2 OUT]
MAIN : カメラ映像をHD-SDI2から出力します
VF : VF映像をHD-SDI2から出力します
RET : リターン映像をHD-SDI2から出力します
<NOTE>
5C-FB以上のケーブルをご使用ください。

22. PROMPT 出力コネクタ <PROMPTER OUT>

CCUからのプロンプター映像入力がこのコネクタから出力されます。

23. 外部電源入力コネクタ <DC IN>

外部DC電源入力を接続します。(DC 10.8 V ~ 17 V)
<NOTE>
・本機の電源投入時には、突入電流が発生します。電源投入時に電源供給能力が不足すると、故障の原因になります。
本機および本機の電源投入と連動して電源投入される接続機器 (ビューファインダーなど) の総消費電力の2倍以上を確保できる外部DC電源の使用をおすすめします。DCコードはAWG18 (公称断面積0.824 mm²) 以上の芯線の2芯シールドコードをご使用ください。
・外部DC電源を使用するときは、必ず外部DC電源の電源スイッチをONにしたあとに、本機のカメラ電源スイッチ<POWER>をONにしてください。逆の操作を行った場合、外部DC電源の出力電圧がゆっくり立ち上がるため、本機が誤動作することがあります。
・外部DC電源のDC出力端子と本機の<DC IN>端子のピン配列を確認し、極性を正しく接続してください。(→16ページ)
誤ってGND端子に12Vの電源を接続すると、火災や故障の原因になります。
・本機とCCUを接続時も、外部DC電源でCCUおよびROPからの操作は可能ですが、動作は本機とCCUの延長距離に影響いたします。

24. MIC1 選択スイッチ1 <FRONT/REAR>

MIC1 選択スイッチ2が「MIC」の場合、マイク入力信号をフロントマイクとリアマイクのいずれかに切り替えます。
FRONT : フロントマイクに切り替えます
REAR : リアマイクに切り替えます

25. MIC1 選択スイッチ2 <LINE/MIC>

オーディオチャンネル1の入力信号をLINE、マイクのいずれかに切り替えます。
LINE : LINE入りに切り替えます
MIC : フロントマイクまたはリアマイクに切り替えます

26. MIC2 選択スイッチ <LINE/MIC>

オーディオチャンネル2の入力信号についてLINEかMICかを選択するスイッチです。

27. リアMIC1コネクタ <MIC1>

オーディオ機器またはマイクロホンを接続します。カメラメニューでゲインの設定が可能です。
マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントム方式とAB方式のマイクが使用可能です。なお、マイク接続時は電源をOFFにし、マイク接続後にマイクに合わせて設定してください。

28. リアMIC2コネクタ <MIC2>

オーディオ機器またはマイクロホンを接続します。カメラメニューでゲインの設定が可能です。
マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントム方式とAB方式のマイクが使用可能です。なお、マイク用電源設定はマイク接続後に行ってください。

29. DC出力コネクタ <DC OUT 12V 1A>

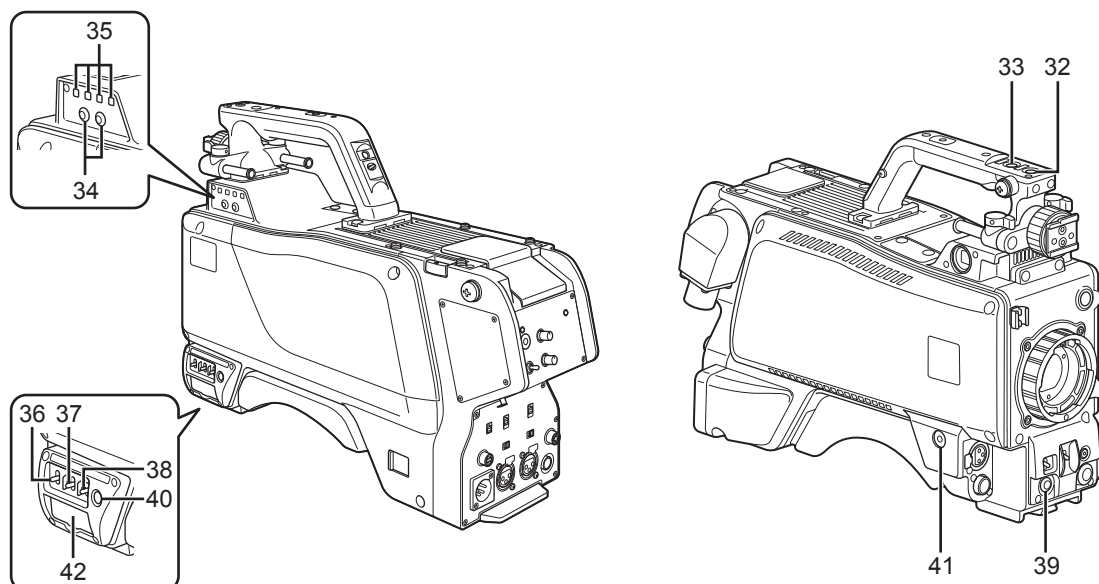
DC12V電源(1.0Aまで)の供給ができます。規定以上の電流が流れると、電流が遮断されます。
また、RとGのタリー信号が出力されます。(オープンコレクター形式)

30. MIC1 電源選択スイッチ <+48V/OFF/AB>

MIC1に供給する電源の種類を選択します。
+48V : ファントム48V
OFF : 電源を供給しません
AB : AB12V

31. MIC2 電源選択スイッチ <+48V/OFF/AB>

MIC2に供給する電源の種類を選択します。
+48V : ファントム48V
OFF : 電源を供給しません
AB : AB12V



32. グリップPTTスイッチ <PTT>

リターンA、リターンB、PTTを設定によって切り替えることができます。

出荷状態はPTTに設定されており、インターカムマイクの ON/OFF を切り替えることができます。機能の切り替えはカメラメニューで変更できます。

[USER MENU] > [OPERATION] > [SWITCH MODE] > [GRIP PTT]

RET A : RET A映像切り替え機能を割り当てます

RET B : RET B映像切り替え機能を割り当てます

PTT : 押下している間だけインターカムマイクがONする機能を割り当てます

33. グリップRETスイッチ <RET>

リターンA、リターンB、PTTを設定によって切り替えることができます。

出荷状態はリターンAに設定されており、リターンAに切り替えることができます。機能の切り替えはカメラメニューで変更できます。

[USER MENU] > [OPERATION] > [SWITCH MODE] > [GRIP RET]

RET A : RET A映像切り替え機能を割り当てます

RET B : RET B映像切り替え機能を割り当てます

PTT : スイッチを押している間だけインターカムマイクがONする機能を割り当てます

34. NDフィルター選択スイッチ <ND FILTER>

[<]/ [>]を押すたびに光学フィルターが切り替わります。

[<]: CLEAR → 1/64 → 1/16 → 1/4 → CLEAR → . . .

[>]: CLEAR → 1/4 → 1/16 → 1/64 → CLEAR → . . .

35. NDフィルター選択LED

選択されている光学フィルター番号のLEDが点灯します。

1 : CLEAR

2 : 1/4

3 : 1/16

4 : 1/64

36. ゲイン選択スイッチ <GAIN>

カメラ映像のゲインを選択します。(LOW、MID、HIGH)

CCUからゲインの設定が可能です。

本機にCCUが接続されているときは使用できません。

37. カメラ出力選択スイッチ <OUTPUT>

ビデオ出力 (CAM、BAR、TEST) を選択します。

本機にCCUが接続されているときは使用できません。

38. ホワイトバランスメモリ選択スイッチ <W.BAL>

ホワイトバランスメモリを選択します。A または B に記録できます。PRST にしたときは、工場設定状態になります。

本機にCCUが接続されているときは使用できません。

39. 40. 41 割り当てスイッチ <USER 1、2、3>

カメラメニューを使用して、このスイッチにあらかじめ用意された ON/OFF 機能を割り当てることができます。

42. メモリーカード挿入部 <SDHC>

メモリーカード (別売品) を挿入します。記録項目については、「調整範囲一覧」 (→24～29ページ) を参照してください。

メモリーカードは本機の設定メニューの保存/読み出し、CACファイルの読み出し、およびソフトウェアのアップデートなどで使用します。

●本機で使用可能なメモリーカードについて

本機には、SD規格またはSDHC規格に準拠したメモリーカードを入れてご使用ください。なお、SDXC規格のメモリーカードには対応していません。

本機では、下記の容量のメモリーカードが使用できます。

SD (8 MB ~ 2 GBまで)

SDHC (4 GB ~ 32 GBまで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>

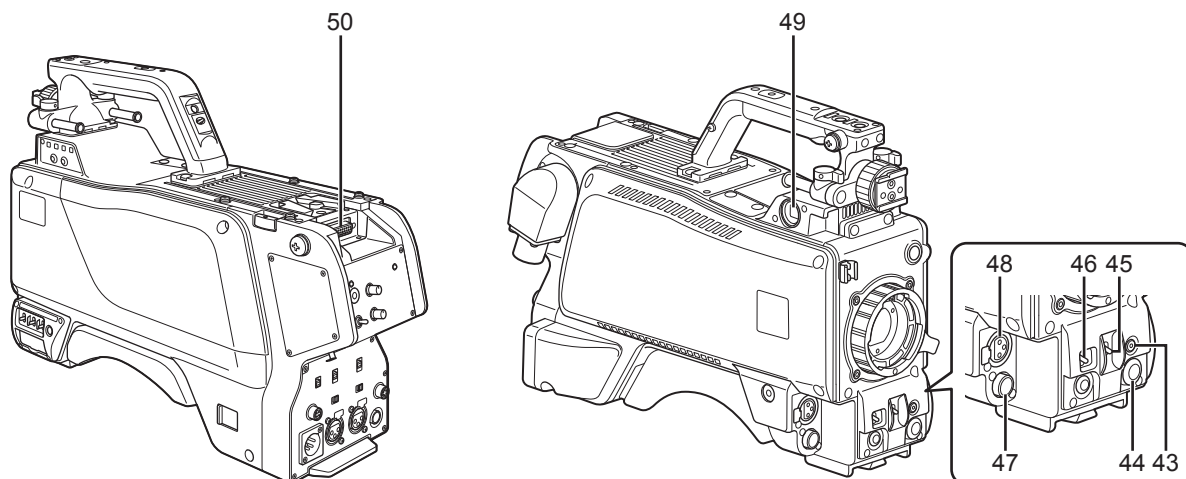
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

<NOTE>

使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。

- ・高温・多湿を避ける。
- ・水滴を付けない。
- ・帯電を避ける。

※ SD ロゴは商標です。



43. メニュースイッチ <MENU>

メニュースイッチを押すと、カメラのUSERメニュー画面 ([OPERATION] [MAINTENANCE]メニュー)が表示されます。もう一度押すと、メニュー画面が OFF となります。

44. ジョグダイヤルボタン <SELECT>

メニュー画面表示中に、ジョグダイヤルを回して設定項目にカーソルを移動します。ダイヤルボタンでメニュー設定を確定します。メニュー操作の詳細については、メニュー操作(→20ページ)の項目を参照してください。

45. 電子シャッター切り替えスイッチ <SHUTTER>

電子シャッターを使用するとき、ONに設定します。SELに設定すると、シャッタースピードはプリセット範囲内で切り替わります。本機にCCUが接続されているときは使用できません。

46. AWB/ABB 開始スイッチ <AUTO W/B BAL>

ホワイトバランスを自動調整 (AWB) またはブラックバランスを自動調整 (ABB) するとき 사용합니다。本機にCCUが接続されているときは使用できません。

47. レンズコネクター <LENS>

レンズケーブルを接続します。

48. フロントMIC1 コネクター <MIC1 (FRONT)>

マイクロホン (別売品) を接続します。使用する場合には、MIC1 選択スイッチをFRONTに設定してください。(→14ページ) マイク用の電源はこの端子から供給され、ファントム方式とAB方式のマイクが使用可能です。なお、マイク接続時は電源をOFFにし、マイク接続後にマイクに合わせて設定してください。

49. ビューファインダーコネクター <VF>

カラービューファインダー (AJ-CVF100G)、2型HDビューファインダー (AJ-HVF21KG) のケーブルを接続します。

50. リアビューファインダーコネクター

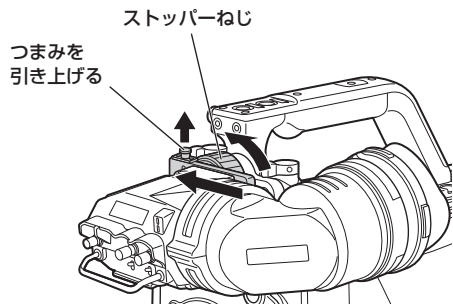
7型LCDビューファインダー (AK-HVF70G) を接続します。この D-sub コネクターは、ビューファインダーインターフェースに使用します。

ビューファインダーの取り付け/取り外し (ビューファインダーは別売品です)

ビューファインダーの取り付け方

本機にはHDビューファインダーが使用できます。
別売のAJ-HVF21KG、AJ-CVF100Gをご使用ください。
ビューファインダーの取り扱いについて、詳しくはビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

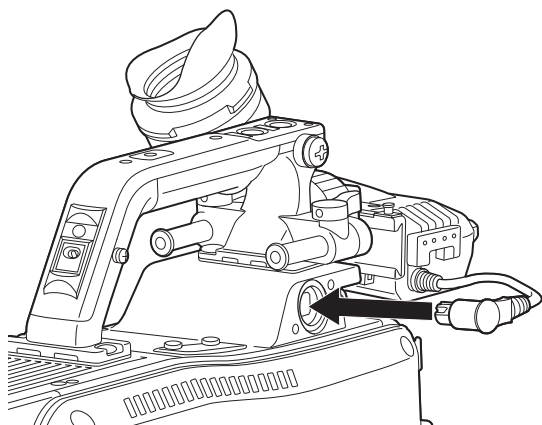
1. カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認する
2. 取り付けプレート上のつまみを引き上げ、プレートをスライドさせてビューファインダーを取り付ける
3. ストッパーねじをしっかりと締め付ける



4. プラグをビューファインダーコネクタ<VF>に接続する

<NOTE>

プラグをビューファインダーコネクタ<VF>に接続するときは、プラグの根本までしっかりと差し込まれていることを確認してください。



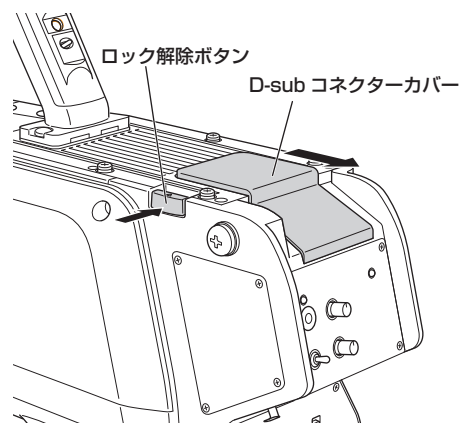
ビューファインダーの取り外し方

1. カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認する
2. ビューファインダーコネクタ<VF>からプラグを取り外す
3. ストッパーねじをゆるめ、取り付けプレート上のつまみを引き上げ、プレートに沿ってビューファインダーをスライドさせ、プレートから取り外す

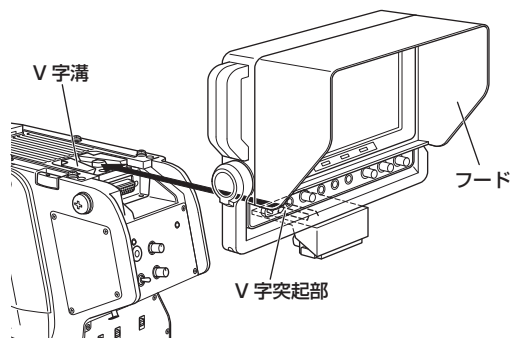
リアビューファインダーの取り付け方

別売のAK-HVF70Gをご使用ください。
LCDビューファインダーの取り扱いについて、詳しくはLCDビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。

1. カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認する
2. LCDビューファインダーのPAN BRAKEつまみ、およびチルトロックダイヤルがロックされていることを確認する
LCDビューファインダーのPAN BRAKEつまみ、およびチルトロックダイヤルの操作方法は、LCDビューファインダーの取扱説明書をご覧ください。
3. ロック解除ボタンを押して、D-sub コネクタカバーを取り外す



4. カメラ側のV字溝に、LCDビューファインダーのV字突起部を合わせてスライドし、ロックがかかるまで押し込む



<NOTE>

取り付け時は、ビューファインダーのフードを持たないでください。

リアビューファインダーの取り外し方

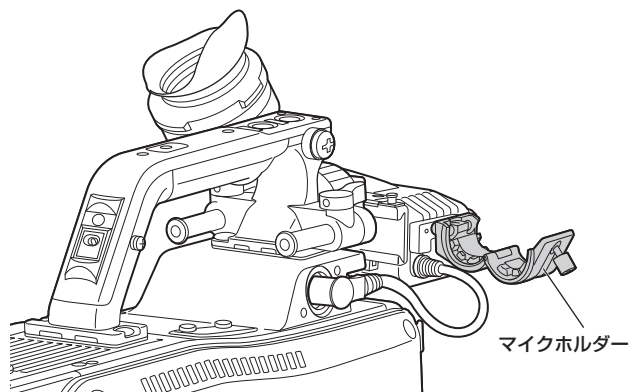
1. カメラ本体の電源がOFFになっていることを確認する
2. ロック解除ボタンを押しながら、LCDビューファインダーをスライドし、取り外す
<NOTE>
取り外し時は、ビューファインダーのフードを持たないでください。
3. コネクタカバーを取り付ける

マイクロホンの接続

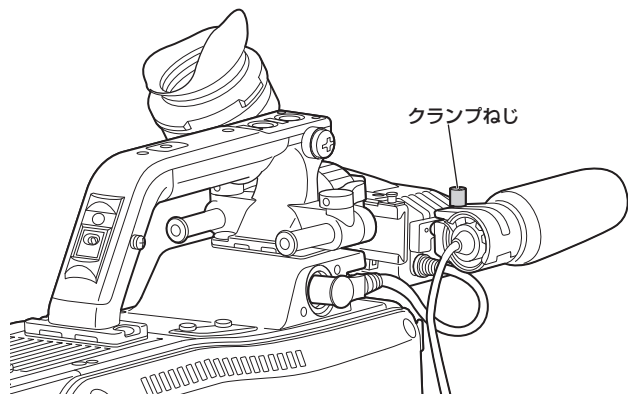
■マイクロホンをビューファインダー(別売品)に取り付けて使用する場合

ビューファインダーには、マイクロホンキットAJ-MC700(別売品)などのマイクロホンを取り付けることができます。

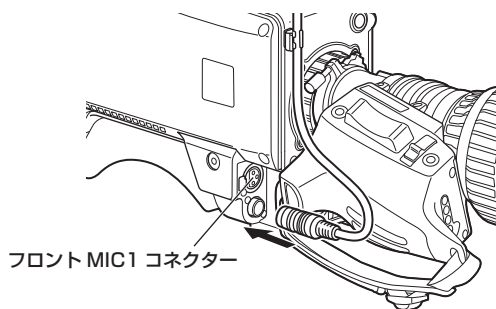
1. マイクホルダーを開く



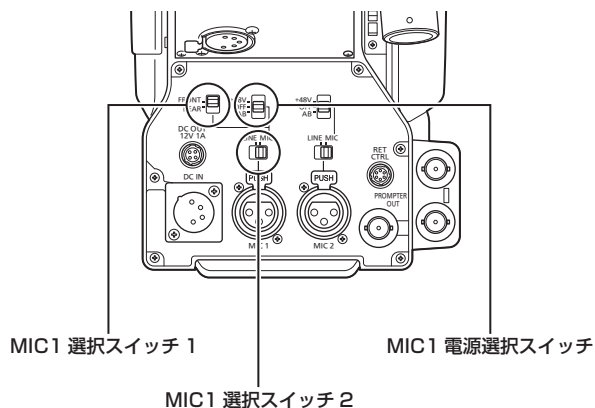
2. マイクロホンを取り付けて、クランプねじを締め付ける



3. マイクケーブルをケーブルランプに通し、本機のフロントMIC1コネクター<MIC1>に接続する



4. フロントマイクの音声を使う場合は、MIC1 選択スイッチ 1 をフロントマイク<FRONT>に、MIC1 選択スイッチ 2 を<MIC>に設定し、MIC1 電源選択スイッチでマイクに合わせて電源の設定を行う

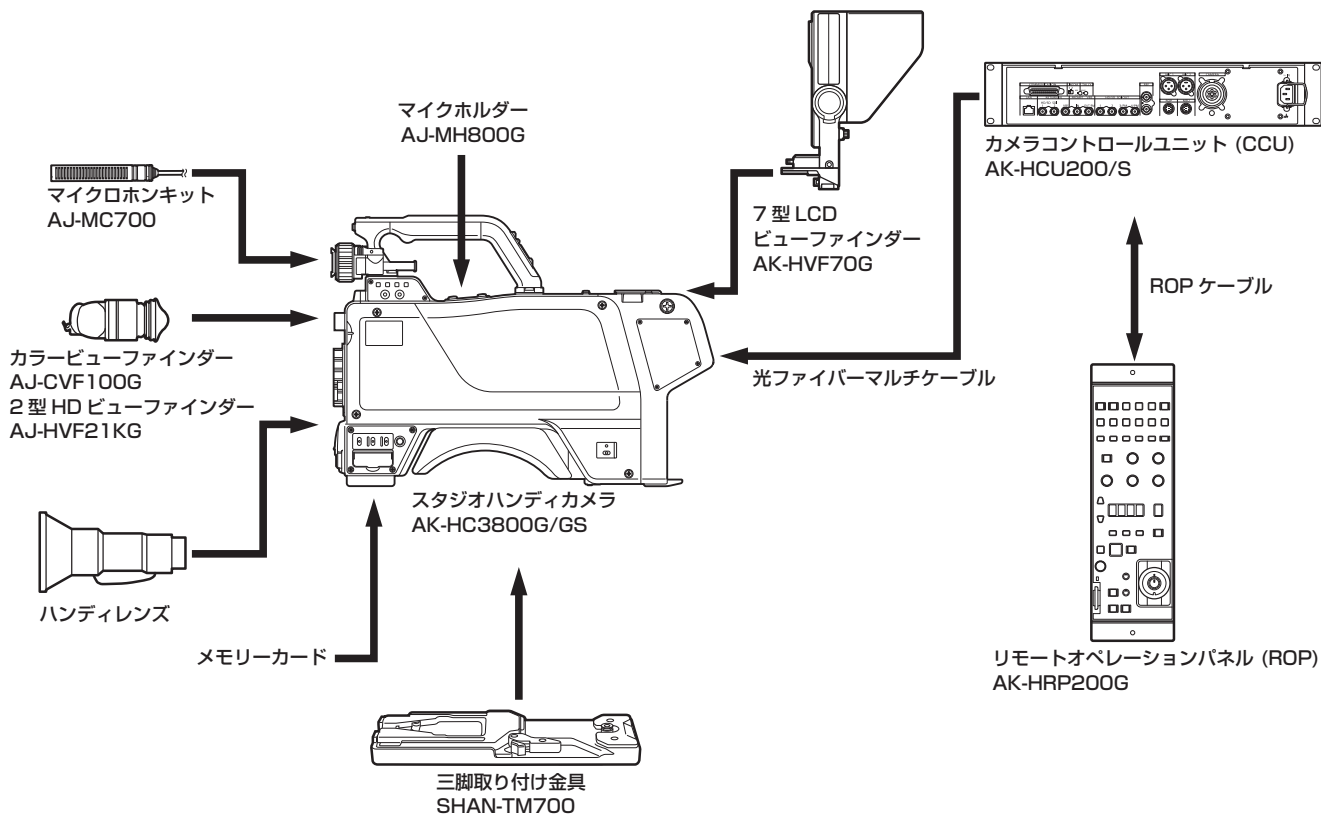


システム構成

スタジオハンディカメラ (AK-HC3800G/GS) と周辺機器から構成される標準システムの例を示します。

基本のシステム構成には、レンズ、スタジオハンディカメラ、ビューファインダー、カメラコントロールユニット (CCU)、およびリモートオペレーションパネル (ROP) が含まれます。

システムブロック図



周辺機器について

●カメラコントロールユニット (CCU : AK-HCU200/S)

スタジオハンディカメラ用のカメラコントロールユニットです。
光ファイバermalケーブルでスタジオハンディカメラに接続します。

〈NOTE〉

- ・ AK-HCU200/S以外のカメラコントロールユニット (CCU) は、接続しないでください。
- ・ 上記システムブロック図の接続機器については、各機器の取扱説明書を参照してください。

●リモートオペレーションパネル (ROP : AK-HRP200G)

ROPケーブルでCCUに接続し、カメラ、CCU、レンズをリモートコントロールします。

●カラービューファインダー (1" VF : AJ-CVF100G)

●2型HDビューファインダー (2" VF : AJ-HVF21KG)

スタジオハンディカメラ用のビューファインダーです。

●7型LCDビューファインダー (7" LCD VF : AK-HVF70G)

スタジオハンディカメラ用のLCDビューファインダーです。

機器の接続

機器接続については、13～14ページをご参照ください。

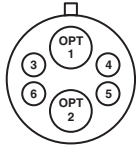
機器をすべて接続した後、CCUの主電源スイッチをON位置にします。
その後でカメラの電源スイッチを入れます。

AK-HC3800G/GS コネクターピン

「各部の名前とはたらき」中の番号

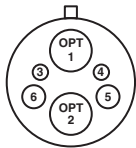
7 OPT FIBER

多治見無線電機製



ピン番号	信号
1	OPT-TX (Mark Band = IN)
2	OPT-RX (Mark Band = OUT)
3	DC190V (C)
4	DC190V (H)
5	STBY_SIG
6	STBY_PWP

LEMO製



ピン番号	信号
1	OPT-TX (Mark Band = IN)
2	OPT-RX (Mark Band = OUT)
3	STBY_PWP
4	STBY_SIG
5	DC190V (H)
6	DC190V (C)

10 INCOM : NC5FBH(ノイトリック)

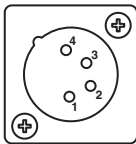
ピン番号	信号
1	TALK_GND
2	TALK
3	RECEIVE_GND
4	RECEIVE
5	

19 RET CTRL : HR10A-7R-6SC(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	INCOM1_MIC_ON
2	
3	AGND
4	RET_CNT3
5	RET_CNT1
6	RET_CNT2

23 DC IN : HA16RA-4P(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	GND
2	
3	
4	DC10.8V ~ 17V
CASE	Frame GND

「各部の名前とはたらき」中の番号

27 MIC1 : HA16PRM-3SG(72)(ヒロセ電機)



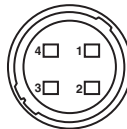
ピン番号	信号
1	MIC1_GND
2	MIC1(H)
3	MIC1(C)

28 MIC2 : HA16PRM-3SG(72)(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	MIC2_GND
2	MIC2(H)
3	MIC2(C)

29 DC OUT : HR10A-7R-4SC(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	UNREG_GND
2	R_TALLY_OUT (接点出力)
3	G_TALLY_OUT (接点出力)
4	SCRIPT+12V

47 LENS : HR10A-10R-12SC(ヒロセ電機)

ピン番号	信号
1	LENS_RET SW
2	LENS_VTR SW
3	AGND
4	ENF_SERVO
5	IRIS_CONT
6	LENS+12V
7	IRIS_POSI
8	H_IRIS_A-R
9	EXTENDER
10	ZOOM_POSI
11	FOCUS_POS/L_RXD
12	S_IRIS_A-R/L_TXD

48 MIC1 (FRONT) : HA16PRM-3SG(71)(ヒロセ電機)

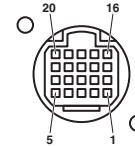
(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	FRONT_MIC_GND
2	FRONT_MIC(H)
3	FRONT_MIC(C)

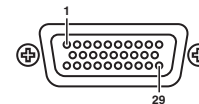
「各部の名前とはたらき」中の番号

49 VF : HR12-14RF-20SDL(ヒロセ電機)



ピン番号	信号
1	VF+12V
2	VF+12V
3	VF+9V (未使用)
4	VF-PBOUT_GND
5	VF-PROUT_GND
6	VF-YOUT
7	VF-YOUT_GND
8	VF_CLK
9	VF_WR
10	VF_DATA
11	GND
12	ZEBRA_SW
13	PEAKING (未使用)
14	TA_BOX_ACT (未使用)
15	VF-PROUT
16	VF-PBOUT
17	VF_SW3 (未使用)
18	FRONT_VR (未使用)
19	TA_TALLY (未使用)
20	F_GND

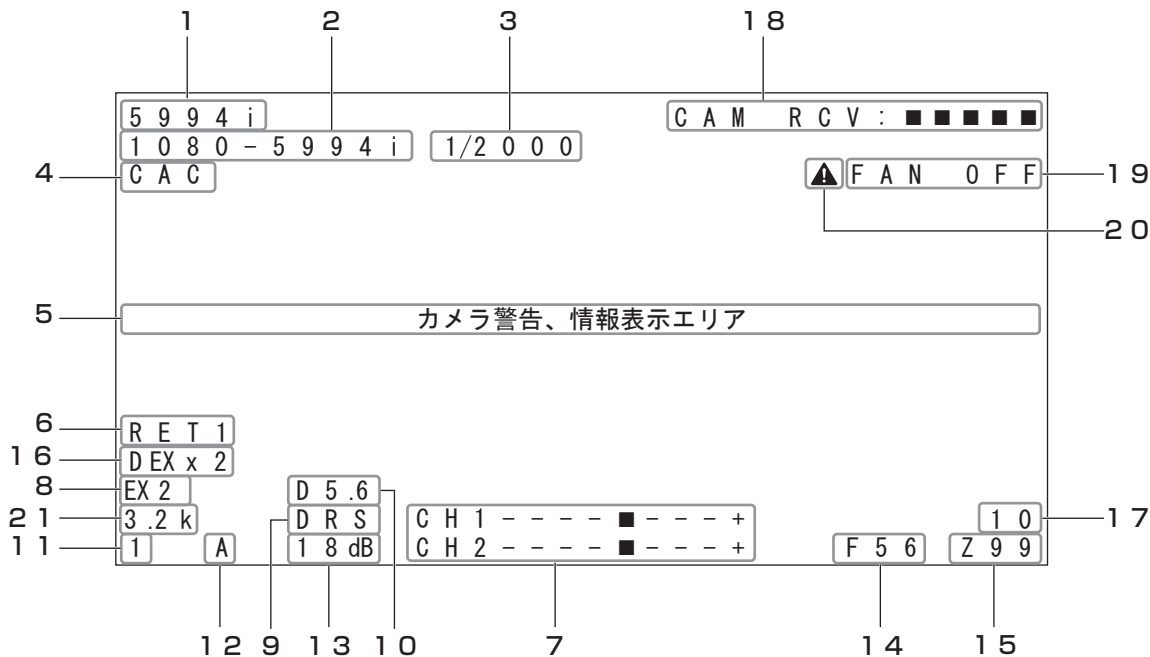
50 REAR VF : D02-29S-N-F0 (日本航空電子工業)



ピン番号	信号
1	Y
2	Pb
3	Pr
4	
5	I2CDATA
6	R_TALLY
7	UP_TALLY
8	
9	VF12V
10	
11	Y-GND
12	Pb-GND
13	Pr-GND
14	A-GND
15	D-GND
16	
17	UNREG-GND
18	
19	F-GND
20	VF P-REQ
21	
22	
23	(P-CONT)
24	I2C CLK
25	G_TALLY
26	(VF-ACT)
27	
28	
29	

ビューファインダーのスクリーン表示

スタジオハンディカメラの設定と動作状態を示すメッセージが、ビューファインダーの画面内に表示されます。表示できるすべての項目は、以下の図のように配置されています。



1.カメラモード表示

59.94i、29.97P、23.98P、50i、25P

2.システムモード表示

1080-59.94i、1080-50i

3.シャッタースピード

各設定に応じてシャッター値が表示されます。

● 固定シャッター："/****"

カメラモード[59.94i/29.97P/23.98P]の場合：

1/48*1、1/60*2、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000

*1 23.98Pの場合のみ

*2 29.97P、23.98Pの場合

カメラモード[50i/25P]の場合：

1/50*3、1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000

*3 25Pの場合のみ

● 可変速シャッター："/*****"

[59.94i]の場合：1/60.0～1/250

[29.97P]の場合：1/30.0～1/250

[23.98P]の場合：1/24.0～1/250

[50i]の場合：1/50.0～1/250

[25P]の場合：1/25.0～1/250

4.色収差補正表示

補正ありの場合に[CAC]と表示されます。

5.カメラ警告、情報表示エリア

エラーの発生、カメラの設定、調整進行状況、および調整結果を示すメッセージが約3秒間表示されます。

6.RETURN ID表示

RETURN出力されている番号のRETURN IDが表示されます。

カメラメニューの[OPERATION]>[RETURN SETTING]>[ID SETTING]>[RETURN 1]～[RETURN 4]で設定されたID(文字列)が表示されます。

工場出荷時は、以下のRETURN ID(文字列)に設定されています。

RET1 (RETURN1出力時)

RET2 (RETURN2出力時)

RET3 (RETURN3出力時)

RET4 (RETURN4出力時)

7.AUDIO入力系統とレベルメーター

MIC1(CH1)とMIC2(CH2)のオーディオレベルがここに表示されます。

CH1 ----■----+

CH2 ----■----+

8.エクステンダー表示

レンズエクステンダーを使用中に[EX2]と表示されます。

9.DRS表示

DRS機能がON中に[DRS]と表示されます。

10.5600K表示

電子的色補正の設定をON中に、[D5.6]と表示されます。

11.フィルターポジション表示

NDフィルタの位置を表示します。

1:Clear、2:1/4ND、3:1/16ND、4:1/64ND

12.ホワイトバランスメモリ表示

ホワイトバランス用に選択した自動調整メモリを表示します。

A:ホワイトバランスメモリ選択スイッチ<W.BAL>を「A」に設定

B:ホワイトバランスメモリ選択スイッチ<W.BAL>を「B」に設定

P:ホワイトバランスメモリ選択スイッチ<W.BAL>を「PRST」に設定

13.ゲイン表示

ゲイン選択スイッチで選択したビデオアンプの

ゲイン設定(dB表示)を表示します。

12dBMAX設定のとき：-3、0、3、6、9、12 dB

36dBMAX設定のとき：-3、0、3、6、9、12、18、27、36 dB

14.アイリスF値表示

アイリス設定(F値)のおおよその値を表示します。

OPEN、F*.*～F**、CLOSE

15.ズーム位置表示

ズーム位置が数値で表示されます。

Z00～Z99

<NOTE>

この値は、ズーム位置を出力するレンズを使用時に表示されます。

16. デジタルエクステンダー表示

デジタルエクステンダーを使用した場合に、表示されます。
2倍 : D EX x 2

17. フォーカス位置表示

フォーカス位置が数値で表示されます。

00~99

〈NOTE〉

この値は、CAC対応レンズ使用時のみ表示されます。

18. 光レベル表示

本機が受信する光信号のレベルを5段階で表示します。

CAM RCV : ■

CAM RCV : ■■

CAM RCV : ■■■

CAM RCV : ■■■■

CAM RCV : ■■■■■

19. FAN OFF表示

FAN POWERがOFFに設定されているときに表示されます。

このとき、ビューファインダーをフロントとリアに同時装着してご使用している場合は、フロント側のビューファインダーの電源供給を停止します。

20. WARM UP異常表示

電源ON後、約5秒経過しても規定の温度以下の場合に▲(アイコン)が表示されます。(→19ページ)

21. 色温度

現在、カメラで設定されている色温度を表示します。

AWB(オートホワイトバランス)実行時のメモリー値と、メニュー設定値の場合があります。

*.*k (例) 3.2k

ご使用時間の確認

[MAINTENANCE] メニューにある [HOUR METER] の項目で確認できます。

HEAD :カメラヘッドの駆動時間を確認できます。
FAN :ファンの駆動時間を確認できます。

ワーニング表示について

カメラワーニング表示

カメラの AUTO 機能でエラーが生じた場合に表示されます。

●AWB(オートホワイトバランス)実行時：

①	AWB LOW LIGHT	オートホワイトバランスが光量不足で実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
②	AWB HIGH LIGHT	オートホワイトバランスが光量が大きすぎて実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
③	AWB R/Bch NG Out Range	Red または Blue のホワイトバランス収束ができません。 画面一様の白を写して実行してください。

●ABB(オートブラックバランス)実行時：

①	Not Finished	オートブラックバランスが正常に終わることができません。 レンズアイリスがオープンになっていない可能性があります。
②	R/B Out Range	Red または Blue のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。

●ASU(オートセットアップ)実行時：

①	LENS CTL NG Out Range	レンズアイリス制御ができません。 レンズの設定を見直してください。
②	--- R/Bch NG	実行している処理において、Red または Blue の異常が起きています。 正規のチャート使用、チャートとの正対および画角、光源の色温度設定、その他制御不能な個所がないか確認してください。

その他のワーニング表示

●FAN STOP

FAN STOP	ファンに異常があり停止しています。 このとき、ビューファインダーをフロントとリアに同時装着してご使用している場合、フロント側のビューファインダーの電源供給を停止します。 速やかに使用をやめ、販売店にご相談ください。
----------	---

●WARM UP

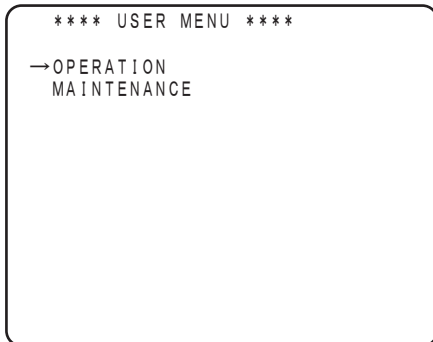
WARM UP	電源 ON 時、機器内の温度が下がり過ぎており予熱をしています。 電源 ON 後約 5 秒経過しても予熱が必要な温度にある場合、この警告が消え▲が表示されます。(→17、18ページ) WARM UP 表示または▲が消灯していることを確認し、ご使用ください。
---------	--

メニュー操作

メニュー表示

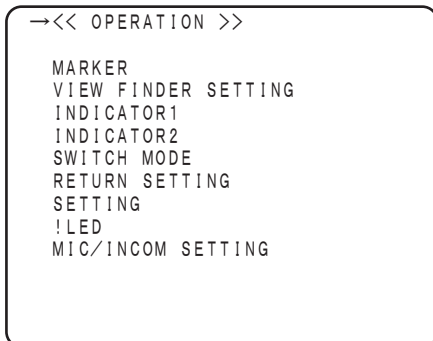
1. メニュースイッチ<MENU>を押す

ビューファインダーまたはモニター上に、カメラのユーザーメニュー [USER MENU]が表示されます。



2. ジョグダイヤル<SELECT>を回してメニュー項目を選択し、ジョグダイヤル<SELECT>を押す

選択した項目のメニューに入ります。

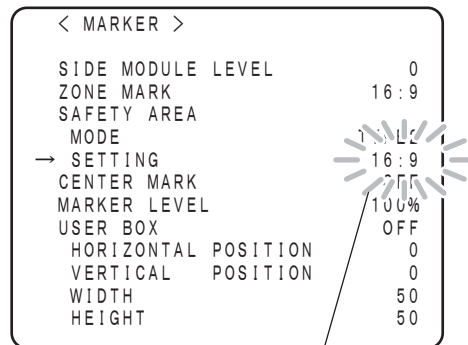


メニューデータの入力

項目メニューに入ったら、それぞれのデータを入力します。

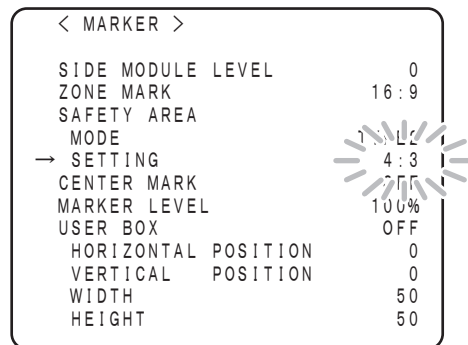
1. ジョグダイヤル<SELECT>を回して、設定するメニュー項目を選択し、ジョグダイヤル<SELECT>を押す

矢印で示された項目の設定が点滅します。



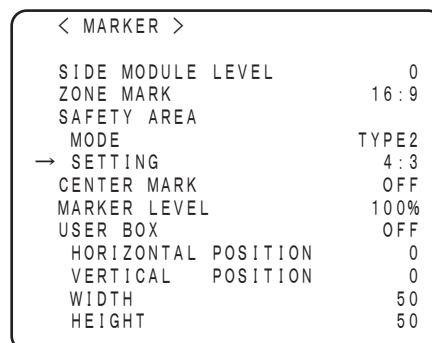
点滅

2. ジョグダイヤル<SELECT>を回して、設定を変更する



3. ジョグダイヤル<SELECT>を押す

データが確定します。



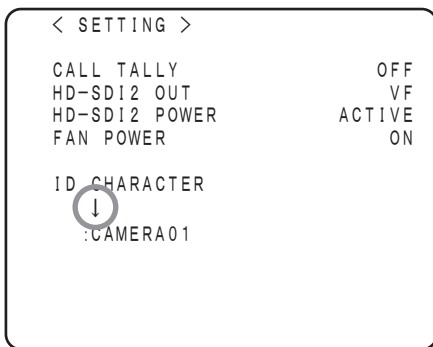
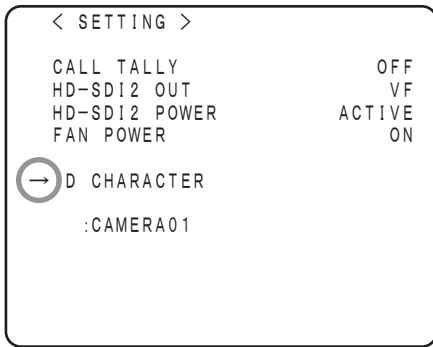
(NOTE)

手順2で設定が点滅中にメニュースイッチ<MENU>を押してメニュー画面をOFFにしても、設定は反映されます。

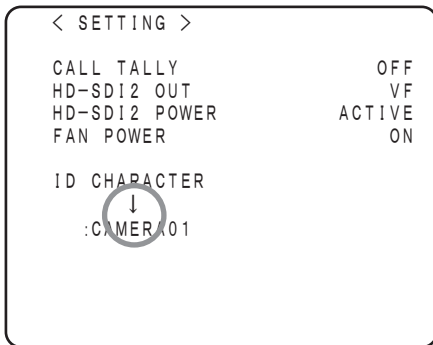
メニューデータの入力(文字入力)

1. ジョグダイヤル<SELECT>を押す

カーソルが下向き矢印に代わり、先頭の文字の上に表示されます。

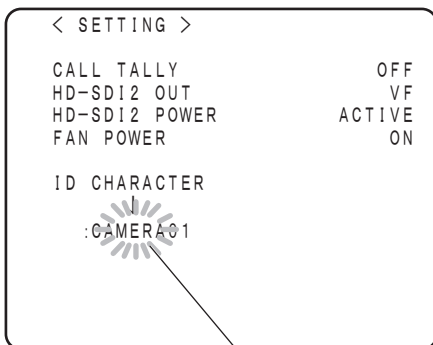


2. ジョグダイヤル<SELECT>を回して、変更したい文字の上に矢印を移動する



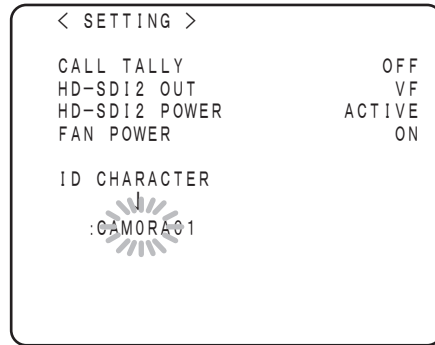
3. ジョグダイヤル<SELECT>を押す

変更したい文字が点滅します。



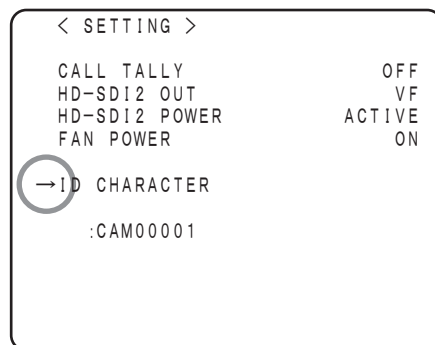
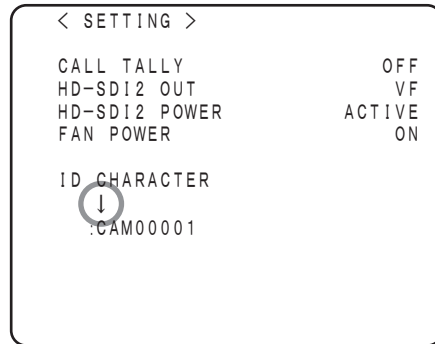
点滅

4. ジョグダイヤル<SELECT>を回して文字を変更し、ジョグダイヤル<SELECT>を押してデータを確定する
変更したいすべての文字に対して、同様に操作します。



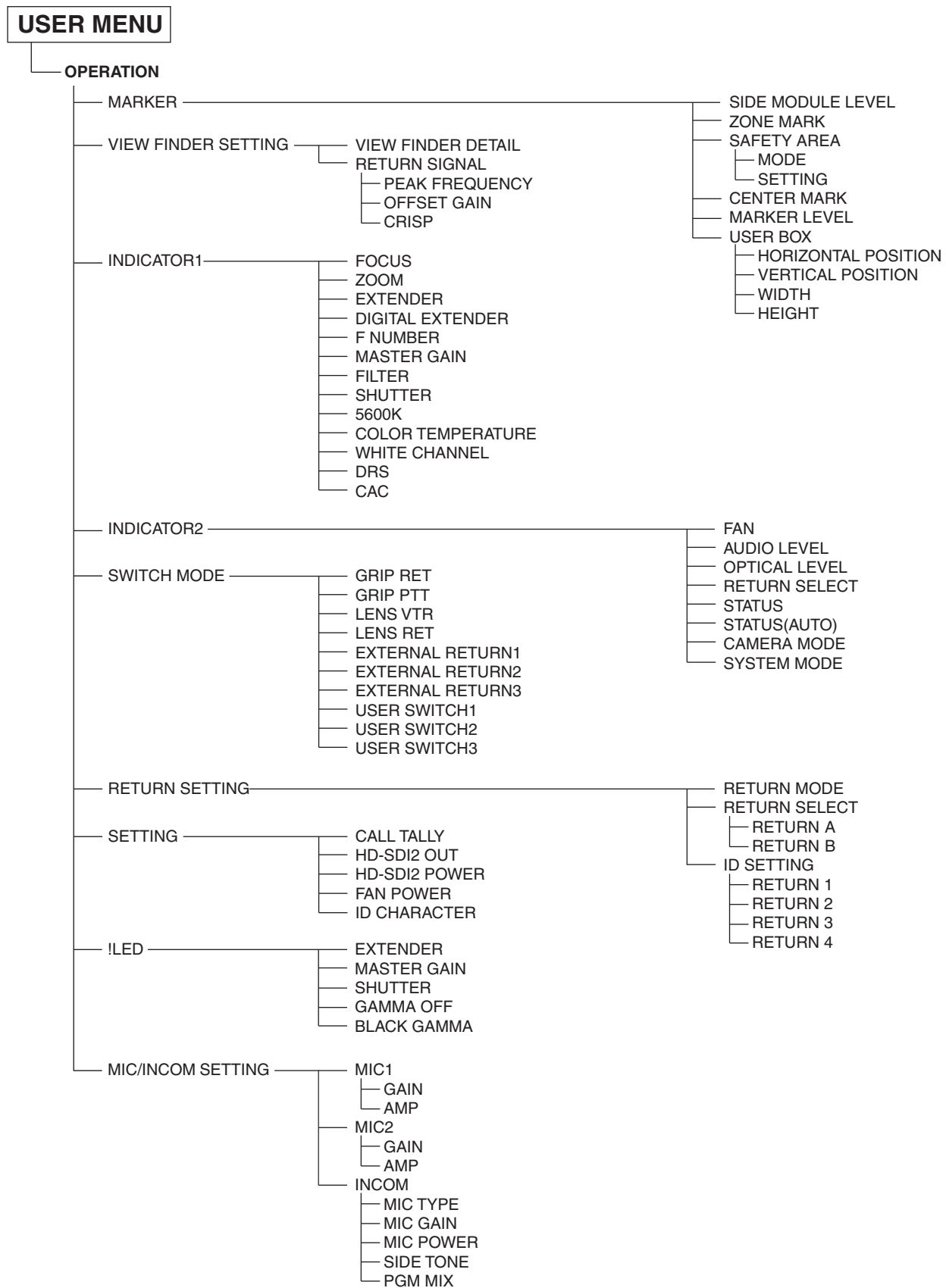
5. メニューの先頭に下向き矢印のカーソルを移動し、ジョグダイヤル<SELECT>を押す

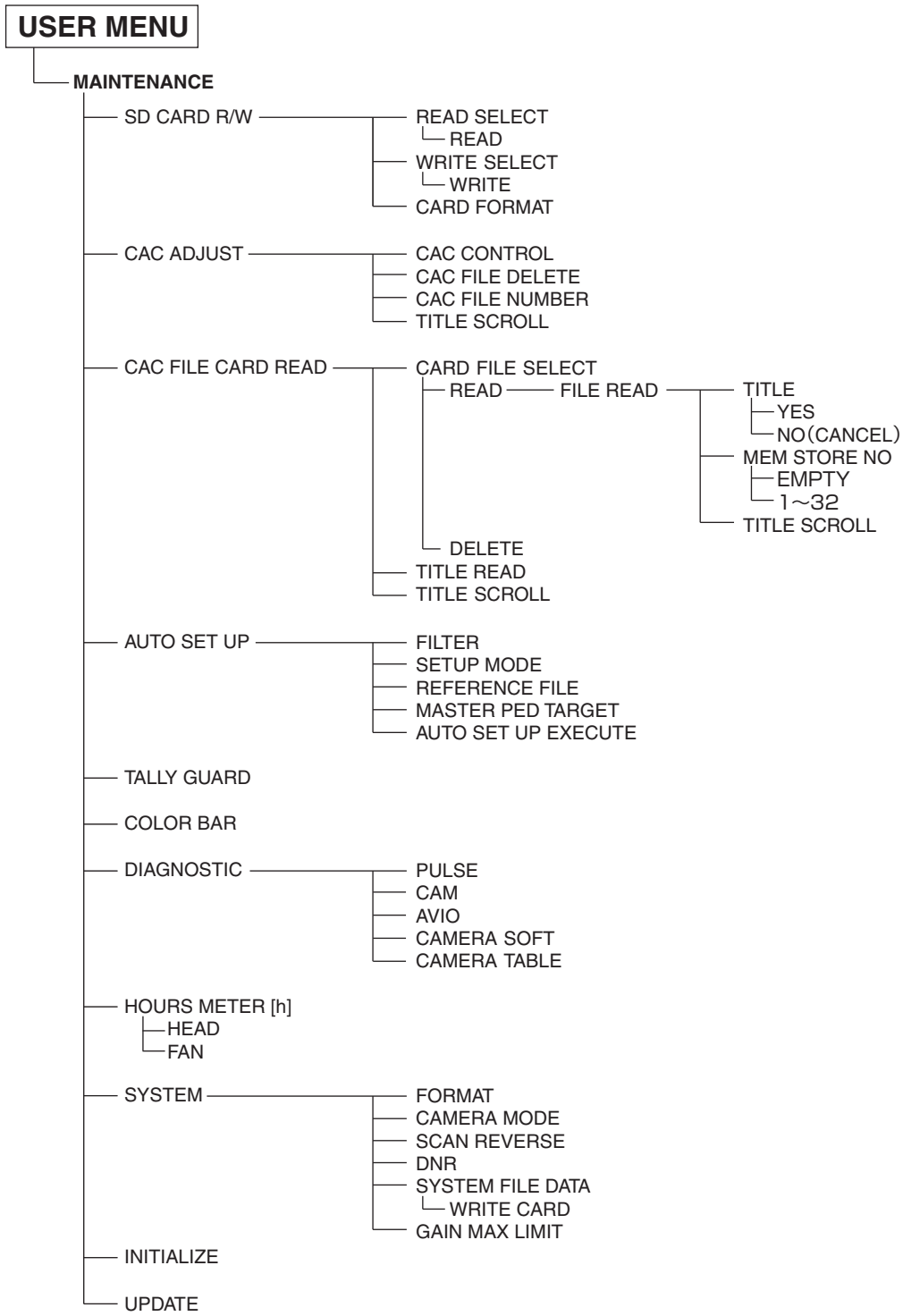
カーソルが横向き矢印に変わり、別の項目が選択できるようになります。



メニュー構成

■メニュー階層





調整範囲一覧

■ OPERATION

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE 記録項目
MARKER	SIDE MODULE LEVEL	1	<u>0</u> 15	ゾーンマーカがONのとき、両サイドの輝度変調レベルを設定します。	○
	ZONE MARK	—	OFF 4:3 13:9 14:9 15:9 16:9	ゾーンマーカを設定します。	○
	SAFETY AREA	—	—	—	—
	MODE	—	TYPE1 TYPE2	セーフティーエリアタイプを設定します。	○
	SETTING	1% ----- —	OFF 80% 100% ----- OFF 4:3 13:9 14:9 15:9 16:9	TYPE1時、TYPE2時のセーフティーエリアを設定します。 ・[MODE]の設定が[TYPE1]の場合 OFF/80%~100% ・[MODE]の設定が[TYPE2]の場合 OFF/4:3/13:9/14:9/15:9/16:9	○
	CENTER MARK	1	OFF 1 4	センターマーカの形を設定します。	○
	MARKER LEVEL	—	50% 60% 70% 80% 90% 100%	マーカおよびOSDの明るさを設定します。	○
	USER BOX	—	ON OFF	カーソルマーカのON/OFFを設定します。	○
	HORIZONTAL POSITION	1	-50 <u>0</u> 50	カーソルの水平位置を調整します。	○
	VERTICAL POSITION	1	-50 <u>0</u> 50	カーソルの垂直位置を調整します。	○
	WIDTH	1	0 <u>50</u> 100	カーソルの幅を調整します。	○
	HEIGHT	1	0 <u>50</u> 100	カーソルの高さを調整します。	○

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE記録項目
VIEW FINDER SETTING	VIEW FINDER DETAIL	1	0 <u>6</u> 23	ビューファインダーDTLを調整します。	○
	RETURN SIGNAL	—	—	—	—
	PEAK FREQUENCY	—	LOW <u>MID</u> HI	RET信号のピーク周波数を調整します。	○
	OFFSET GAIN	1	<u>0</u> 5	RET信号のDTLオフセットゲインを調整します。	○
	CRISP	1	0 <u>10</u> 15	RET信号のDTLクリस्पレベルを調整します。	○
INDICATOR1	FOCUS* ¹	—	ON <u>OFF</u>	フォーカス位置表示のON/OFFを設定します。	○
	ZOOM* ¹	—	ON <u>OFF</u>	ズーム位置表示のON/OFFを設定します。	○
	EXTENDER	—	ON <u>OFF</u>	エクステンダー表示のON/OFFを設定します。	○
	DIGITAL EXTENDER	—	ON <u>OFF</u>	デジタルエクステンダー表示のON/OFFを設定します。	○
	F NUMBER* ¹	—	ON <u>OFF</u>	アイリスF値表示のON/OFFを設定します。	○
	MASTER GAIN	—	ON <u>OFF</u>	ゲイン表示のON/OFFを設定します。	○
	FILTER	—	ON <u>OFF</u>	フィルターポジション表示のON/OFFを設定します。	○
	SHUTTER	—	ON <u>OFF</u>	電子シャッター表示のON/OFFを設定します。	○
	5600K	—	ON <u>OFF</u>	5600K表示のON/OFFを設定します。	○
	COLOR TEMPERATURE	—	ON <u>OFF</u>	色温度表示のON/OFFを設定します。	○
	WHITE CHANNEL	—	ON <u>OFF</u>	ホワイトバランスメモリ表示のON/OFFを設定します。	○
	DRS	—	ON <u>OFF</u>	DRS表示のON/OFFを設定します。	○
	CAC	—	ON <u>OFF</u>	色収差補正表示(CAC)のON/OFFを設定します。	○
INDICATOR2	FAN	—	ON <u>OFF</u>	FAN OFF表示のON/OFFを設定します。	○
	AUDIO LEVEL	—	ON <u>OFF</u>	オーディオレベル(レベルメーター)表示のON/OFFを設定します。	○
	OPTICAL LEVEL	—	ON <u>OFF</u>	本機が受信する光信号レベルのON/OFFを設定します。	○
	RETURN SELECT	—	ON <u>OFF</u>	RETURN ID表示のON/OFFを設定します。	○
	STATUS	—	ON <u>OFF</u>	機能選択時に現れる表示のON/OFFを設定します。	○
	STATUS(AUTO)	—	ON <u>OFF</u>	AWB/ABB/ASU開始時または終了時に現れる表示のON/OFFを設定します。	○
	CAMERA MODE	—	ON <u>OFF</u>	カメラモード表示のON/OFFを設定します。	○
	SYSTEM MODE	—	ON <u>OFF</u>	システムモード表示のON/OFFを設定します。	○

*¹ 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE 記録項目
SWITCH MODE	GRIP RET	—	<u>RET A</u> RET B PTT	グリップRETスイッチ<RET>の機能を選択します。	○
	GRIP PTT	—	RET A <u>RET B</u> PTT	グリップPTTスイッチ<PTT>の機能を選択します。	○
	LENS VTR	—	RET A RET B PTT D.EXT INH	ハンディレンズRETスイッチの機能を選択します。	○
	LENS RET	—	RET A RET B	ハンディレンズRETスイッチの機能を選択します。	○
	EXTERNAL RETURN1	—	RET A RET B D.EXT	外部リターンコントロールスイッチ1の機能を選択します。	○
	EXTERNAL RETURN2	—	RET A RET B D.EXT	外部リターンコントロールスイッチ2の機能を選択します。	○
	EXTERNAL RETURN3	—	RET A <u>RET B</u> D.EXT	外部リターンコントロールスイッチ3の機能を選択します。	○
	USER SWITCH1	—	RET A RET B PTT DISP MARK D.EXT	割り当てスイッチ1<USER 1>の機能を選択します。	○
	USER SWITCH2	—	RET A RET B <u>PTT</u> DISP MARK D.EXT	割り当てスイッチ2<USER 2>の機能を選択します。	○
	USER SWITCH3	—	RET A RET B PTT DISP MARK D.EXT	割り当てスイッチ3<USER 3>の機能を選択します。	○
RETURN SETTING	RETURN MODE	—	NORM TOGGLE SEQ.	RETスイッチ操作モードを設定します。	○
	RETURN SELECT	—	—	—	—
	RETURN A	—	1 2 3 4	リターンAのリターン信号を割り当てます。	○
	RETURN B	—	1 2 3 4	リターンBのリターン信号を割り当てます。	○
	ID SETTING	—	—	—	—
	RETURN 1	—	<u>RET1</u>	リターンビデオ1の名称を設定します。 ・入力可能な文字は5文字です。	○
	RETURN 2	—	<u>RET2</u>	リターンビデオ2の名称を設定します。 ・入力可能な文字は5文字です。	○
	RETURN 3	—	<u>RET3</u>	リターンビデオ3の名称を設定します。 ・入力可能な文字は5文字です。	○
RETURN 4	—	<u>RET4</u>	リターンビデオ4の名称を設定します。 ・入力可能な文字は5文字です。	○	

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE 記録項目
SETTING	CALL TALLY	—	<u>OFF</u> R T R&T	コール時のタリー点灯を設定します。 R:REDタリー点灯 T:アップタリー点灯* ³ R&T: REDタリーとアップタリーの両方が点灯	○
	HD-SDI2 OUT	—	MAIN <u>VE</u> RET	カメラHD-SDI出力2コネクタ<HD-SDI2>のモードを選択します。	○
	HD-SDI2 POWER	—	<u>ACTIVE</u> SAVE	HD-SDI2電源のON/OFFを設定します。	○
	FAN POWER	—	<u>ON</u> OFF	カメラのFAN電源のON/OFFを設定します ・電源ON時は設定が[ON]に戻ります。	—
	ID CHARACTER	—	*****	カメラの名称を設定します。 ・入力可能な文字は10文字です。	○
ILED* ²	EXTENDER	—	<u>ON</u> OFF	レンズエクステンダーON時の状態表示のON/OFFを設定します。	○
	MASTER GAIN	—	<u>ON</u> OFF	ゲインが0 dB以外のときの状態表示のON/OFFを設定します。	○
	SHUTTER	—	<u>ON</u> OFF	電子シャッターON時の状態表示のON/OFFを設定します。	○
	GAMMA OFF	—	<u>ON</u> OFF	ガンマOFF時の状態表示のON/OFFを設定します。	○
	BLACK GAMMA	—	<u>ON</u> OFF	ブラックガンマON時の状態表示のON/OFFを設定します。	○
MIC/INCOM SETTING	MIC1	—	—	—	—
	GAIN	—	20dB 40dB <u>60dB</u>	MIC1のゲイン設定を行います。	○
	AMP	1dB	-20dB <u>0dB</u> 20dB	MIC1の振幅を設定します。	○
	MIC2	—	—	—	—
	GAIN	—	20dB 40dB <u>60dB</u>	リアマイクの入力レベルの選択、MIC2のゲイン設定を行います。	○
	AMP	1dB	-20dB <u>0dB</u> 20dB	MIC2の振幅を設定します。	○
	INCOM	—	—	—	—
	MIC TYPE	—	<u>DYN</u> ECM CBN	インターカムマイクのタイプを選択します。 DYN: ダイナミック型 ECM: コンデンサ型 CBN: カーボン型	○
	MIC GAIN	1dB	-12dB <u>0dB</u> 12dB	インターカムマイクのゲインを設定します。	○
	MIC POWER	—	<u>ON</u> OFF	インターカムマイクの電源供給ON/OFFを設定します。	○
	SIDE TONE	3dB	OFF -36dB <u>-6dB</u> 0dB	インターカムのサイドトーンON/OFFを設定します。	○
	PGM MIX	—	<u>ON</u> OFF	インターカムのPGMミックスのON/OFFを設定します。	○

*² [ILED]メニューで[ON]に設定した項目のうち、本機が変則動作状態になると、ビューファインダー内の[!]LEDが点灯します。*³ リアビューファインダーコネクタに接続されたビューファインダーの正面のタリーランプです。

■ MAINTENANCE

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE 記録項目
SD CARD R/W	READ SELECT	1	<u>1</u> 8	読み込みするカメラオペレーションファイルを選択します。	—
	READ	—	YES NO	カメラオペレーションファイルの読み込みを実行します。	—
	WRITE SELECT	1	<u>1</u> 8	書き出しするカメラオペレーションファイルの選択	—
	WRITE	—	YES NO	カメラオペレーションファイルの書き出しを実行します。	—
	CARD FORMAT	—	YES NO	メモリーカードのFORMATを実行します。	—
CAC ADJUST	CAC CONTROL	—	<u>ON</u> OFF	色収差補正を行うか行わないかを切り替えます。	—
	CAC FILE DELETE *1	—	YES NO	[CAC FILE NUMBER] 項目で選択されたCACファイルの削除を実行します。	—
	CAC FILE NUMBER	1	<u>1</u> 32	CAC MANUAL 補正時のCACファイルの選択、 [CAC FILE DELETE] 時の削除するCACファイル の選択を行います。	—
	TITLE SCROLL *2	1	<u>1</u> 25	CACファイルのタイトルをスクロールします。	—
CAC FILE CARD READ	CARD FILE SELECT	1	<u>1</u> 32	操作(READ/DELETE)を行う番号を選択します。	—
	READ *3	—	YES NO	メモリーカードからの読み込みを実行します。	—
	DELETE *5	—	YES NO	メモリーカード内のCACファイルの削除を実行しま す。	—
	TITLE READ	—	YES NO	メモリーカード内のCACファイルのタイトルを読み 込み、表示します。	—
	TITLE SCROLL	1	<u>1</u> 25	メモリーカード内のCACファイルのタイトルをスク ロールします。	—
FILE READ *4	TITLE	—	—	[CAC FILE CARD READ] の [READ] 項目で選択 されたCACファイルのタイトルを表示します。	—
	YES	—	—	メモリーカードから読み込んだCACファイルを内部 メモリーに記憶します。	—
	NO	—	—	メモリーカードから読み込んだCACファイルを内部 メモリーに記憶しません。(CANCEL)	—
	MEM STORE NO *6	1	<u>EMPTY</u> 1 32	内部メモリーにCACファイルを記憶する番号を選択 します。 EMPTY: 番号順にサーチして記憶されていない箇所 に記憶します。 1~32: 選択した番号に記憶します。	—
	TITLE SCROLL *2	1	<u>1</u> 25	内部メモリーのCACファイルのタイトルをスクロ ールします。	—

*1 カメラの内部メモリーに記憶され、[CAC FILE NUMBER] 項目で選択されたCACファイルを削除します。

ジョグダイヤル<SELECT>を押すと、YES/NO 選択画面に遷移します。

*2 カーソルで選択して、ジョグダイヤル<SELECT>を押すと、ジョグダイヤル<SELECT>を回転させてスクロール動作することができます。

*3 ジョグダイヤル<SELECT>を押すと、[FILE READ] 画面に遷移します。

*4 [CAC FILE CARD READ]>[CARD FILE SELECT]>[READ] から遷移します。

*5 ジョグダイヤル<SELECT>を押すと、YES/NO 選択画面に遷移します。

*6 選択した番号にすでにCACファイルが記憶されている場合は、上書きされます。

調整範囲一覧 (つづき)

(下線が工場出荷時の設定です)

メニュー	項目名	可変ステップ	可変範囲	設定内容	OPERATION FILE 記録項目
AUTO SET UP	FILTER	—	REF CURRENT	オートセットアップ時のND/CCフィルターモードを設定します。	—
	SETUP MODE	—	FULL EASY	オートセットアップモードを設定します。	—
	REFERENCE FILE	—	FACTORY USER1 USER2 USER3	オートセットアップ上のリファレンスファイルを設定します。	—
	MASTER PED TARGET	0.5 %	0.0% 2.0% 7.5%	オートセットアップ上のマスターペダスタルを設定します。	—
	AUTO SET UP EXECUTE	—	YES NO	オートセットアップを実行します。	—
TALLY GUARD		—	ON OFF	タリーON時にAWB、ABB、ASUの実行を禁止します。	—
COLOR BAR		—	SMPTE FULL BAR ARIB	カラーバーの種類を選択します。	—
DIAGNOSTIC	PULSE	—	(バージョン表示)	PULSE FPGAのバージョンを表示します。	—
	CAM	—	(バージョン表示)	CAM FPGAのバージョンを表示します。	—
	AVIO	—	(バージョン表示)	AVIO FPGAのバージョンを表示します。	—
	CAMERA SOFT	—	(バージョン表示)	CAMERA SOFTのバージョンを表示します。	—
	CAMERA TABLE	—	(バージョン表示)	CAMERA TABLEのバージョンを表示します。	—
HOURS METER [h]		—	—	—	—
HEAD		1	0 65000	カメラヘッドの駆動時間を表示します。	—
FAN		1	0 65000	ファンの駆動時間を表示します。	—
SYSTEM	FORMAT	—	59.94i 50i	システムフォーマットを設定します。	—
	CAMERA MODE* ⁸	—	59.94i 29.97P 23.98P ----- 50i 25P	撮影時の映像方式を設定します。 • [FORMAT]の設定が[59.94i]の場合 59.94i/29.97P/23.98P • [FORMAT]の設定が[50i]の場合 50i/25P	—
	SCAN REVERSE	—	ON OFF	SCAN REVERSEのON/OFFを設定します。	—
	DNR	—	ON OFF	DNRのON/OFFを設定します。	—
	SYSTEM FILE DATA	—	—	—	—
	WRITE CARD	—	YES NO	アワータイム、バージョン、シリアル番号のメモリーカードへの保存を行います。	—
	GAIN MAX LIMIT	—	12dB 36dB	GAIN MAX LIMIT 値 (12dBまたは36dB) を設定します。	—
INITIALIZE* ⁷		—	YES NO	USER MENUの設定値およびシーンデータ、USERデータ、レンズデータが、工場出荷値に戻ります。ただし、[SYSTEM]の[FORMAT]は工場出荷値に戻りません。	—
UPDATE		—	YES NO	ソフトのアップデートを行います。	—

*⁷ CCUと未接続状態のときのみメニューに表示されます。*⁸ 本機からのHD-SDI出力は、この設定にかかわらず[FORMAT]で設定された形式で出力されます。また、この設定は、CCUのSETTING1メニューの[CCU MODE]の設定に応じて、設定してください。

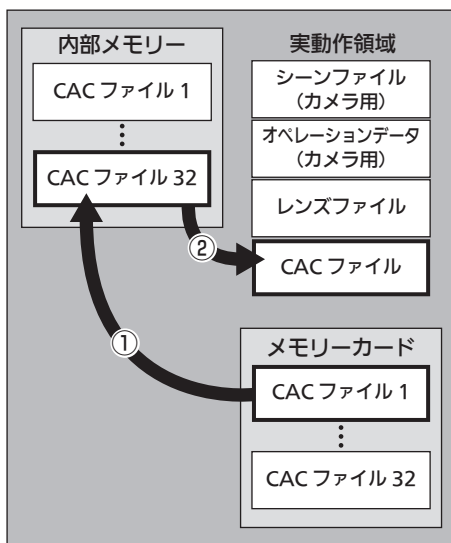
カメラで扱うデータについて

カメラで取り扱うデータは下記の通りです。

管理機器	名称	個数	説明
カメラ	オペレーションデータ (カメラ用)	1～8	カメラメニューの[OPERATION]で設定されたマーカー設定、ボタン設定などカメラ保持している機器設定データです。カメラにて管理します。カメラメニュー操作で保存、読み出しが可能です。カメラメニュー操作でメモリーカードへの保存、読み出しも可能です。
	レンズファイル	1～32	ビデオエンジニア (VE) が扱うレンズ固有の特性を補正するデータで、カメラにて管理します。ROP操作で保存、読み出しが可能です。ROPにてメモリーカードへの保存、読み出しも可能です。 データ内容の一覧は、AK-HRP200Gの取扱説明書を参照してください。
	CACファイル	1～32	レンズ固有の色収差補正データで、カメラにて管理します。カメラメニュー操作でメモリーカードからの読み出しのみ可能です。
	シーンファイル	1～4	主にビデオエンジニア (VE) が扱う絵作り用データで、カメラにて管理します。ROP操作で保存、読み出しが可能です。ROPにてメモリーカードへの保存、読み出しも可能です。 データ内容の一覧は、AK-HRP200Gの取扱説明書を参照してください。

CACファイル

AK-HC3800G/GS (カメラ)



① CACファイルの読み出し

カメラメニューの[MAINTENANCE]>[CAC FILE CARD READ]にて、カメラのメモリーカード挿入部に挿入されたメモリーカードよりCACファイルを実動作領域へ読み出すことができます。CACファイルのファイル名は、レンズに応じた固有のファイル名で、Webサイトよりダウンロードできます*1。32個以上のCACファイルがメモリーカード内にある場合は、日付の新しい順に32個のファイルを読み出します。

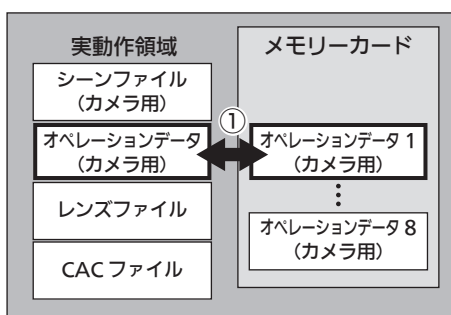
*1 本機で動作保証されているCAC対応レンズは当社Webサイトで確認することができます。また、当社Webサイトのサポートデスクより、CACファイル入手することができます。
(日本語) <http://panasonic.biz/sav/>
(英語) <http://pro-av.panasonic.net/>

② CACファイルの呼び出し

レンズに応じて自動的に選択され、実動作領域に呼び出されます。

オペレーションデータ (カメラ用)

AK-HC3800G/GS (カメラ)



① オペレーションデータの保存、読み出し

カメラメニューの[MAINTENANCE]>[SD CARD R/W]にて、カメラのメモリーカード挿入部に挿入されたメモリーカードよりオペレーションデータを実動作領域へ読み出すことができます。また、実動作領域のオペレーションデータをメモリーカードへ保存することもできます。保存日時は「2099年1月1日 0:00」に固定されます。

本機搭載ファームウェアのアップデートについて

ファームウェアアップデートの有無および操作説明は下記のWebサイトをご参照ください。

(日本語)<http://panasonic.biz/sav/>

(英語)<http://pro-av.panasonic.net/>

保証とアフターサービス(よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、

お買い上げの販売店

へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社では、スタジオハンディカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店へご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

■保証期間経過後の修理は...

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

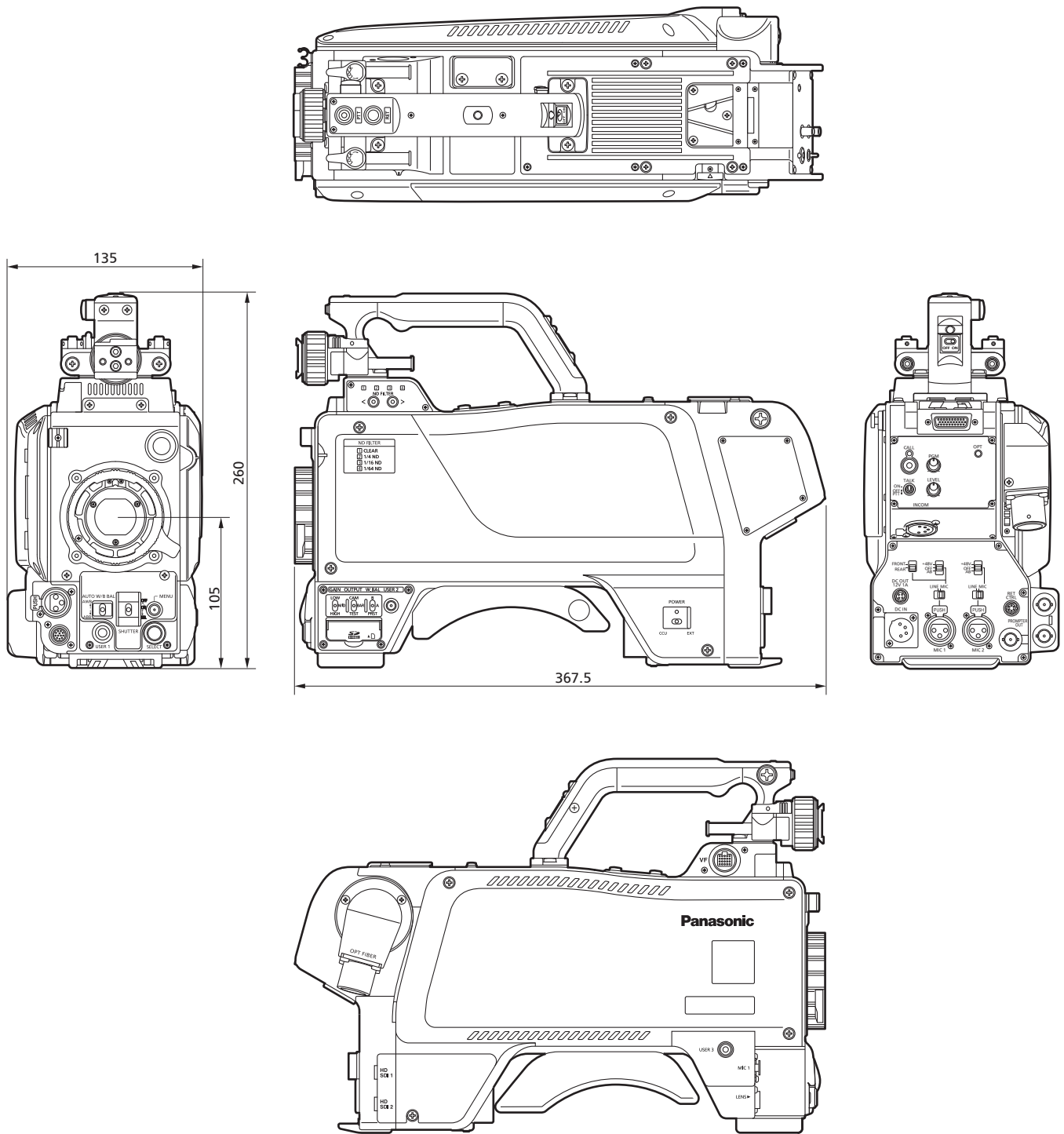
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品名	スタジオハンディカメラ
品番	AK-HC3800G/GS
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

外形寸法图

单位：mm



定格

■ 総合

電源入力

電源	: DC 12 V (外部電源供給時) DC 190 V (CCU 接続時)
消費電力	: 25 W (外部電源供給時、本体のみ) 53 W (外部電源供給時、全てのアクセサリを接続した状態で各出力端子の最大供給時の最大電力) 60 W (CCU 接続時、すべてのアクセサリを接続した状態で各出力端子の最大供給時の最大電力)

 は安全項目です。

動作温度	: -10℃～45℃ [0℃以下では予熱が必要]
保存温度	: -20℃～60℃
動作湿度	: 85%以下
質量	: 約3.7 kg
外形寸法	: 135 mm×260 mm×367.5 mm (幅×高さ×奥行) [突起部除く]

基本項目

1) 撮像素子	: 2/3" 220 万画素1T、CCD × 3
2) 方式	: GBR 撮像方式
3) 分解光学系	: F1.4 プリズム
4) 光学フィルター	: ND: 素通し、1/4、1/16、1/64
5) レンズマウント	: バヨネット式
6) 出力規格	: SMPTE 292M
7) 感度	: F11 (垂直周波数: 59.94Hz時) F12 (垂直周波数: 50Hz時)
8) 水平解像度	: 1100 TV本
9) S/N	: 60 dB以上
10) 水平周波数	: 33.716 kHz、 1125 ライン/フレーム (垂直周波数: 59.94 Hz) 28.125 kHz、 1125 ライン/フレーム (垂直周波数: 50 Hz)
11) 垂直周波数	: 59.94 Hz または 50 Hz、 インターレース

入出力信号

1) マイク入力	: -60 dBu ~ 4 dBu (XLR 3 ピン、メス× 2) カメラメニューでゲインを選択
2) インターカム	: 入力: -60 dBu ~ -20 dBu 出力: 100 mW max. (XLR 5 ピン、メス× 1)
3) HD-SDI1/HD-SDI2 出力	: HD 信号 = 0.8 V [p-p]、75 Ω (BNC) HD-SDI2 出力は、カメラメニューにて通常映像に加え、VF または RET 映像出力へ切り替え可能。
4) Prompt 出力	: VBS 信号 = 1 V [p-p]、75 Ω (BNC)
5) DC OUT	: 12 V、MAX. 1 A

制御

1) 電源切り替え	: CCU、OFF、EXT
2) USER 1/2/3	: メニュー項目で指定した機能をスイッチに割り当て可能
3) RET A/B 選択	: リターン信号の選択
4) RET/PTT 切り替え	: RET、PTT
5) ゲイン選択*1	: LOW、MID、HIGH
6) 出力選択*1	: CAM、BAR、TEST
7) ホワイトバランスモード*1	: A、B、プリセット

8) シャッター速度選択*1

カメラモード [59.94i/29.97P/23.98P] の場合:
1/48*2、1/60*3、1/100、1/120、
1/125、1/250、1/500、1/1000、
1/1500、1/2000
カメラモード [50i/25P] の場合:
1/50*4、1/60、1/100、1/125、1/250、
1/500、1/1000、1/1500、1/2000

9) AWB、ABB SW*1

10) メニュー選択	
11) CALL SW	
12) インターカム	: マイク ON/OFF、受話または PGM レベル
13) マイク設定	: マイク電源、マイクゲイン、MIC1 選択

*1 CCU を接続しているときは、選択機能は使用できません。ROPからの制御になります。

*2 カメラモードが23.98Pの場合のみ

*3 カメラモードが29.97P、23.98Pの場合

*4 カメラモードが25Pの場合のみ

A			
AWB/ABB開始スイッチ	12	
C			
CACファイル	30	
D			
DC出力コネクタ	10	
I			
INCOM/PGMレベルつまみ	9	
INCOMコネクタ	9	
INCOMマイクON/OFFスイッチ	9	
INCOMレベルつまみ	9	
M			
MAINTENANCE	28	
MIC1 選択スイッチ1	10	
MIC1 選択スイッチ2	10	
MIC1 電源選択スイッチ	10	
MIC2 選択スイッチ	10	
MIC2 電源選択スイッチ	10	
N			
NDフィルター選択LED	11	
NDフィルター選択スイッチ	11	
O			
OPERATION	24	
OPT LED	9	
P			
PROMPT 出力コネクタ	10	
R			
RET切り替えコントロールコネクタ	10	
お			
オペレーションデータ	30	
か			
外形寸法図	32	
外部電源入力コネクタ	10	
カメラHD-SDI出力1コネクタ	10	
カメラHD-SDI出力2コネクタ	10	
カメラ出力選択スイッチ	11	
カメラナンバーシート	8	
く			
グリップPTTスイッチ	11	
グリップRETスイッチ	11	
け			
ゲイン選択スイッチ	11	
こ			
コールLED	9	
コールスイッチ	9	
コネクタピン	16	
さ			
三脚	8	
し			
システム構成	15	
周辺機器	15	
ジョグダイヤルボタン	12	
ショルダーパッド	8	
て			
定格	33	
電源スイッチ	9	
電源表示LED	9	
電子シャッター切り替えスイッチ	12	
は			
バックタリLED選択スイッチ	9	
ひ			
光ファイバーコネクタ	8	
ビューファインダー			
スクリーン表示	17	
取り付け/取り外し	13	
ビューファインダーコネクタ	12	
ふ			
ファームウェア	31	
付属品	2	
フレーム周波数	6	
フロントMIC1コネクタ	12	
ほ			
ホワイトバランスメモリ選択スイッチ	11	
ま			
マイクケーブルクランプ	8	
マイクロホン			
接続	14	
め			
メニュー			
構成	22	
操作	20	
メニュースイッチ	12	
メモリーカード	11	
り			
リアMIC1コネクタ	10	
リアMIC2コネクタ	10	
リアビューファインダーコネクタ	12	
れ			
レンズケーブル	8	
レンズ固定レバー	8	
レンズコネクタ	12	
レンズマウント	8	
わ			
ワーニング	19	
割り当てスイッチ	11	

A series of horizontal dashed lines for writing.

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



Panasonic Corporation

Web Site: <http://panasonic.net>

パナソニック株式会社 AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2012